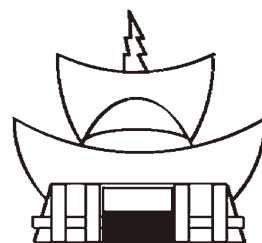


いわで

議会だより

2025.12



No.78



目次 CONTENTS

- 第3回定例会議決結果 2
- 一般質問項目 3
- 発議(意見書・条例改正)..... 10
- 議会広報常任委員会視察研修 11
- 連載：キラリみらいVoice 12
12月議会の開催予定

作品名：ブランコ大好き！

撮影者：やっちゃんママさん

～ 遊びながら 学べる公園 ～

撮影場所：岩出市交通公園(防災公園)

「いっぱい遊びたいな！また連れてきてね」

和歌山県 岩出市議会

編集/議会広報常任委員会

岩出市議会ホームページ <https://www.city.iwade.lg.jp/gikai/>



岩出市議会ウェブサイト

令和7年第3回定例会議決結果

◆ 全会一致の議案等

案 件 名	結果
専決処分の承認を求めることについて（令和7年度岩出市一般会計補正予算第3号）	承認
岩出市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
岩出市議会議員及び岩出市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決
職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決
岩出市老人医療費の支給に関する条例の一部改正について	可決
令和7年度岩出市一般会計補正予算（第4号）	可決
令和7年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
市道路線の認定について	認定
刑事訴訟法における再審規定の改正を求める意見書の提出について	可決
岩出市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	可決
人権擁護委員候補者の推薦について（三木 周子 氏）	適任
人権擁護委員候補者の推薦について（藤井 孝宣 氏）	適任
人権擁護委員候補者の推薦について（竹下 佐栄 氏）	適任
人権擁護委員候補者の推薦について（橋本 眞由美 氏）	適任

◆ 賛否が分かれた議案等

案 件 名	結果	「○」賛成 「×」反対 「－」賛否に加わっていない 「欠」欠席 ※ 議長は通常採決に加わらないため「/」としています。											
		公明党 議 員 団			創生岩出			郁青青 ク ラ ブ			ネット岩出		
		玉田隆紀	大上正春	田畑正昭	福山晴美	西野峻也	井神慶久	三栖慎太郎	尾和正之	牛田佑佳	田中宏幸	福岡進二	杉本直哉
令和7年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度岩出市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※案件名は、正式議案名ではありません。

決算審査特別委員会

令和6年度決算議案7件を審査するため、10月14日から10月17日まで開催しました。
 （決算審査特別委員会は、市の前年度の決算認定について審査するために設置される特別委員会です。）

- ・一般会計歳入歳出決算認定
- ・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- ・介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- ・墓園事業特別会計歳入歳出決算認定
- ・水道事業会計剰余金の処分及び収入支出決算認定
- ・下水道事業会計収入支出決算認定

決算審査特別委員（9月9日選任）

- ◎委員長 田中宏幸（ネット岩出）
- 副委員長 尾和正之（郁青青クラブ）
- 委 員 西野峻也（創生岩出）
- 委 員 杉本直哉（ネット岩出）
- 委 員 田畑正昭（公明党議員団）
- 委 員 牛田佑佳（郁青青クラブ）



一般質問

6人の議員が市政を問う

- * 質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
- * 内容等については、質問者にお問い合わせください。

ふくおか しんじ 議員

4ページ

- ◎カスタマーハラスメントについて
- ◎国勢調査について

うしだ ゆか 議員

8ページ

- ◎不登校児童生徒の増加の現状と取組について
- ◎災害時における要配慮者への支援と防災啓発の取組について

おおうえ まさはる 議員

5ページ

- ◎投票所の環境整備を
- ◎窓口業務の円滑な運営を
- ◎大規模災害の発生に備えて

おわ まさ ゆき 議員

9ページ

- ◎環境を守るまちについて
- ◎自転車への交通反則通告制度（青切符）の導入について

たばた まさあき 議員

6ページ

- ◎予防医療について
- ◎生涯スポーツの推進について

いちき りえ 議員

7ページ

- ◎投票率向上のための環境改善策を
- ◎空き家・空き地などの雑草等に対する適切な管理について
- ◎防災対策について
（福祉避難所の確保・運営ガイドラインの改定）



一般質問項目の事前公表 一般質問の質問者・項目は、事前にウェブサイトで公表しています。



ふくおか しんじ 議員
(ネット岩出)

カスタマーハラスメント 対策は

近年、カスタマーハラスメントは社会問題化し、民間企業にあっては営業に支障をきたし、市町村にとつては市民サービスの低下に繋がるなど、社会的影響を見過ごせない状況となっている。

質問

①市職員における被害の現状は。

②職員へのケアは、どのようにしているのか。

③職員名札の見直しを検討してはどうか。

答 弁 総務部長

①総務課で把握している案件はないが、日常の窓口業務においては、対応に長時間を要するケースも少なからずあるものと認識している。

②以前から、職員を対象

にした接遇研修において、クレーム等への対処方法を学ぶ機会を設けている。令和6年度からは、カスタマーハラスメントをテーマとした研修を実施し、業務において適切に対応できるよう取り組んでいる。



また、職員に疲労がたまる場合は、衛生管理者による「にこにこ相談」を月に2〜3回程度実施し、体調やメンタルの不調に関する相談を行っている。

③近年、執拗なクレームやストーカー行為、SNSへの書き込みなど、職員の安全やプライバシーが全国的に問題視されており、名札にフルネームを記載しない事例が増えている。本市でも、名札には業務の遂行に必要な内容のみ記載するものとして、導入を検討している。

再 質 問

名札の変更内容について、いつから、どのような表記を考えているのか。

答 弁 総務部長

所属、役職は従来どおりで、氏名は、名字のみ平仮名で記載することを考えている。

10月からの変更を予定。

国勢調査の現状は

質問

①特殊詐欺などの対策は。

②民間事業者の活用は。

答 弁 市長公室長

①調査員になりすました語り調査の発生が懸念されているが、国勢調査では、口座番号や資産に関する事項を聞く事はない。

調査員は、調査の際に必ず調査員証を所持しており、提示を求めて不審な場合は、お問合せをいただくことなども併せて、市ウェブサイトやSNSで注意喚起を図っている。

国政調査
調 査 員

調 査 員 証



②調査員は総務大臣が任命する非常勤の国家公務員で、社会福祉施設入所者等への調査を除き、民間への委託はできない。

調査員候補者の紹介を民間に依頼することは可能だが、和歌山県からの調査委託費の中で、紹介料を支出するより、調査員・指導員への負担軽減になるものへの費用に充てたいと考え、今年度については依頼しなかった。



おおうえ まさはる
大上 正春 議員
(公明党議員団)

投票しやすい環境整備を

質問

①第27回参議院議員通常選挙期間中の期日前投票所での混雑状況は。

また、混雑した時間帯は。

②支援が必要な方への配慮は。

答 弁 行政委員会事務局長

①期日前投票者は、9948人で一日平均622人。

午前10時から正午にかけて来場者が多く、最終日は1009人が来場し、終了間近に最も混雑した。②車いすや歩行の困難な方には、最小限の移動ですむよう、記載台まで投票用紙や投票箱をお持ちすることもある。

再質問

①総合保健福祉センターでの期日前投票所設置は。②誰もが投票しやすい環境を整備するため、投票支援カードやコミュニケーションボードの導入は。



岩出市総合保健福祉センター

答 弁 行政委員会事務局長

①人員確保や、二重投票を防ぐシステムの構築等に課題があり、現時点では増設の予定はない。②導入の必要を感じていないが、全ての有権者が円滑に投票を行える環境づくりに努める。

窓口業務の円滑な運営を

質問

①市民課窓口マルチコピー機の設置を。②業務委託制度の導入を。③職員が昼休憩等、休息の取れる体制は。

答 弁 総務部長

①市内には約20店舗のコンビニがあり、設置予定はない。

②市民課では、平均待ち時間が3分であり、直ちに業務委託をすることは考えていない。

③休息スペースの工夫や職員の昼休憩の取り方等、引き続き検討をする。

大規模災害の発生に備えて

質問

①避難所での生活を支えるTKB(トイレ・キッチン・ベッド)の体制は。②近隣住民を巻き込んだ、避難所運営マニュアルに沿った訓練は。

答 弁 総務部長

①今年度は、トイレコンテナの導入を進めている。 「那賀飲食業生活衛生同業組合」と食事の提供等の防災協定を締結した。段ボール製造会社と、段ボールベッドなど段ボール製品調達の協定を結んだ。



トイレコンテナは、根来テニスコートに常設(予定)し、災害時には、避難所に移動できる



②10月の地域防災訓練で、マンホールトイレの設置、段ボールベッドや段ボールパーテーションの設置など、体験していただく。

再質問

地域の防災力向上につながる「避難所運営ゲーム(HUG)」を地域の方々と共に学ぶ機会を設けてみる考えは。

答 弁 総務部長

要望があれば、和歌山県作成の「きいちやんの災害避難ゲーム」を県と協力のもと、活用する。

未来へつなぐ健康施策を



たばた まさひろ 議員
(公明党議員団)

高齢化の進展、子育て支援の高まりが医療費の増大となり、市財政に与える影響は大きい。

予防医療は、病気になることから治療するより、病気になるように予防する事で、医療費の削減に寄与すると考える。

質問

医療費抑制につながる予防医療で、本市の取組はどのようなものがあるか。

答 弁 生活福祉部長

インフルエンザや新型コロナウイルス等の高齢者の定期予防接種、がんの早期発見、早期治療を目的としたがん検診、食や運動等をテーマにした健康講座や運動教室、国民健康保険や後期高齢者医療保険の被保険者が対象の特定健診や特定保健指導、小児を対象とした、肺炎球菌やB型肝炎、ロタウイルス、水痘ワクチン、日本脳炎などの定期予防接種、4か月・7か月・1歳8か月・3歳半の乳幼

児健康診査等の母子保健事業がある。

再 質 問

新たに小児インフルエンザワクチンの助成制度を導入しないのか。

答 弁 生活福祉部長

小児のインフルエンザワクチンは、国内で十分なデータがそろっていないため、定期接種ワクチンになっていない。安全性や有効性を第一に考え、任意接種である小児のインフルエンザワクチンについて、助成制度導入の考えはない。



生涯スポーツの推進

少子高齢社会の中、健康寿命を延ばすことは、持続可能な行財政運営にとって重要な要件である。スポーツは、肉体的、精神的、社会的にも健康に寄与する有効性が高いものだと考える。

質問

スポーツ人口を増やすため、運動習慣のない層や高齢者に継続的な運動を始めてもらう取組は。

答 弁 教育部長

スポーツ少年団の体験教室、ニュースポーツ体験会、公民館事業の体操教室、総合スポーツ大会の初心者部の設定、パークゴルフ場の無料開放などを行っている。

再 質 問

「広報いわで」での大会結果の掲載はスポーツ推進で意義あるものだと考えるが、以前と比べ内容が縮小したのはなぜか。また、幅広く大会結果を掲載していくことについて、どう考えるか。

答 弁 市長公室長

物価高騰で、広報紙の作成費用が著しく増加し、費用抑制のためページ削減に取り組んでいる。大会結果については、掲載基準を見直し、近畿や全国への活躍が期待される県大会等の入賞者以上を掲載することとした。

答 弁 教育部長

スポーツ協会加盟団体が主催または参加の大会で、3位以上の成績を収めた場合を基準として、希望があれば市ウェブサイトに掲載している。



(写真提供：岩出市バタック協会)

投票率向上のための

改善策を

本市では増減はあるものの、県内の自治体と比べ、どの選挙でも投票率が低い状況。投票率が低いと国民の声が政治に反映されにくくなるため、民主主義の基盤が弱まる危険性がある。

投票率を上げるための具体的な方法は、政治並びに選挙への関心を高める意識向上を図ること、投票所に行きやすい環境を整えることが必要。



いちき りえ 議員
市来 利恵

質問

多様な取組が全国の自治体でも展開されている。岩出市でも、さらなる対策が必要ではないか。

答弁 市長

民主主義の根幹である選挙の投票率の向上は、非常に重要なものであることは言うまでもない。

市として、選挙管理委員会が中心となって、投票率向上に向け取組を行ってきたところであるが、残念ながら、無関心層への効果的な対策となっていないかったと考えている。

若者から高齢者まで全ての世代が投票に行くことができる、行きたいと思える環境整備を進めていく。

再質問

高齢者や障害者の投票機会を確保する必要がある。国は国政選挙において、タクシー券配布など、投票所までの移動手段を提供する自治体の移動支援事業を全額補助している。また、希望する施設や自宅前で投票できる循環



環移動投票制度は、なりすまし投票を防ぎ、投票の秘密や自由意思の投票を確保する点でも有効と考える。市でも導入を。

答弁 行政委員会事務局長

現時点での導入予定はない。他自治体での導入事例、最新情報を収集し、導入する場合の課題の洗い出しや解決方法を調査していきたいと考えている。

福祉避難所の確保

福祉避難所や要配慮者支援等、過去の大規模災害から得られた教訓が、制度改正や対策の見直しにつながってきている。

質問

指定福祉避難所の指定及びその受入対象者の公示は。

答弁 総務部長

総合保健福祉センター及び地区公民館7か所の計8か所。要配慮者、身体障害者等を受入対象者として公示している。

質問

自力で避難や移動ができるが、病気や障害などによって一般の避難所生活が困難な要配慮者への対応はどのようになっているか、との声をいただいた。対策は。

答弁 生活福祉部長

どのような対策が有効であるのか、当事者の方々の意見も伺いながら、登録制度や受入体制などを関係部局と連携のうえ、調査研究したいと考えている。



岩出市防災マップ



うしだ ゆか 議員
(郁青青クラブ)

要配慮者を守る 防災体制を

災害時は誰一人取り残さない支援体制を整えることが重要である。高齢者や障害者、乳幼児、妊産婦などの要配慮者への支援は平時からの計画作成や避難所運営の備えが必要であると考えます。

質問

- ①要配慮者の現状は。
- ②要配慮者への支援計画において、福祉避難所の確保は十分か。

答 弁 生活福祉部長

- ①本市では、在宅で生活する要介護3～5の認定者、身体・療育・精神の各手帳所持者、指定難病・特定疾患などの対象者を避難行動要支援者とし、令和7年8月末時点で1803人。
- ②指定または協定を結ん



岩出市防災マニュアル

でいる福祉避難所の受入可能人数は335人。個別避難計画の作成に同意している避難行動要支援者は377名で、現時点では確保ができていない状況。医療的ケアが必要な方や重度の障害がある方への対応は、

施設ごとに差があることが課題。

受入体制の拡充と機能強化に向け関係機関と連携を図る。

再 質 問

どのように福祉避難所の受入れ人数を確保していくつもりなのか。

答 弁 生活福祉部長

受入体制の強化に向け、現在未協定の福祉施設などに働きかけを継続的にを行っている。医療的ケアなどの専門的支援が可能な避難所の確保についても医療・福祉関係機関との連携を強化していく。

不登校児童生徒の現状は

不登校児童生徒は全国的に増加し、令和5年度は過去最多。子供一人ひ

とりが、学び成長できる環境を整えることは大人の責任と考える。

質問

- ①不登校の定義と不登校児童生徒の現状は。
- ②国・県の方針を踏まえた市の取組は。

答 弁 教育部長

①不登校は、年度間に30日以上欠席した者のうち、病気や経済的理由を除き、心理的などの要因で登校できない状況のこと。本市は全国平均より高い。

岩出市 不登校児童生徒数
(1,000人あたり)

年度	小学校	中学校
R1	8.9	29.7
R4	22.6	61.9
R5	33.9	64.0
R6	25.6	81.4

(単位：人)

②国や県の事業を活用し、教育支援センター「フレンド」の運営と、学習指



岩出市教育支援センター「フレンド」の室内
(岩出市教育委員会提供)

導員・補助員・校内教育支援センター支援員の計5名を雇用している。

再 質 問

不登校児童生徒の中には、まだ相談・指導を受けていない方もあると聞

答 弁 教育部長

各小中学校で5日以上欠席した児童生徒の状況を把握し支援を強化。結果、未指導者は94人から11人に減少した。関係機関と連携しながら不登校児童生徒の減少に向け取り組む。



おわ まさゆき 議員
(郁青クラブ)

情報共有と 啓発活動の大切さ

私の一般質問は、市民の声であり、市長・行政に聞いていただき、これらの施策、対策、支援に積極的に取り組み、住んで良かったと思える安心・安全なまちづくりの発展に努めて欲しいとの訴えである。

質問

環境を守るまちについて
①クリーンセンターの設備の現状は。

②クリーンセンターに対する問合せやクレーム（苦情）等の有無は。

答 弁 生活福祉部次長

①可燃粗大ごみ破砕機が、4月16日から故障しており、市民の皆様にはご迷惑をおかけした。

可燃粗大ごみ破砕機は、海外製品のため、故障部品の製造に時間を要しており、現時点では令和8年2月の納品、同3月に修理完了予定。

②当初は多少問合せがあったが、現在は一般家庭ごみから排出される粗大ごみを全て引き受けてお

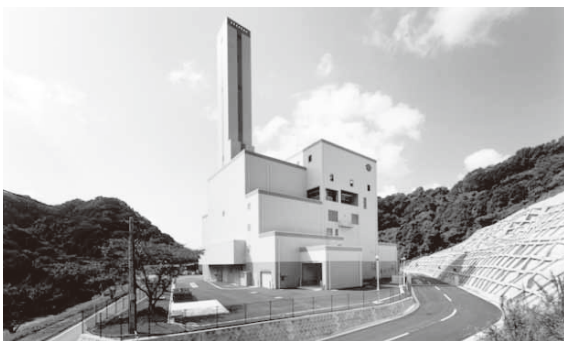
り、問合せや苦情はない。
再質問
再発防止に対する市の見解を。

答 弁 生活福祉部次長

可燃粗大ごみ破砕機については、刃の交換時期が遅れたことにより、刃が丸いままの使用であったため、油圧ポンプに負担がかかり故障した。

今後、刃の交換を計画的に実施することで、再発防止に努める。

また、現状について情報を知らない事も、周知啓発に努めたいと考える。



岩出市クリーンセンター

自転車への交通反則通告制度（青切符）の導入について

令和8年4月1日から施行される制度で、16歳以上の自転車利用者が、信号無視や一時不停止などの交通違反をした際、反則金を納付すれば刑事罰が科されない青切符による処理が行われる制度である。

質問

①制度の施行にあたり警察との啓発の協力は。

②自転車の交通安全教育は考えているのか。

答 弁 総務部長

①交通安全運動期間中に、警察、交通安全推進協議会、交通指導員会、交通安全母の会等と協力し、自転車の交通ルールに関する街頭啓発活動を実施している。

②交通安全団体では、交通安全教育を実施している。また、高齢者を対象とした岩出市ときめき交通大学において、講習を開催している。

答 弁 教育部長

②交通安全教室と称し、岩出警察署の協力を得て、学ぶ機会を設けている。

再質問

地域コミュニティーを深めるためにも、子供から大人まで一緒に講習できるイベントも必要ではないか。本市の対策は。

答 弁 総務部長

様々な機会を捉え、交通安全に関する啓発を実施していく。

地域の方々も、啓発を見ていただいて、地域でも捉えていただきたい。

主な反則行為（113項目中）	反則金
携帯電話使用等	1万2000円
信号無視	6000円
通交区分違反	6000円
無灯火	5000円
傘さし運転	5000円
2人乗り	3000円

他：107項目

発議

発議とは、議員または委員会が議案を提出することです。

発議には意見書の提出や条例の改正などがあり、「こんな仕組みにしたい！」などの提案を話し合うために議案として提出します。



詳細はこちら

意見書

発議第1号 刑事訴訟法における再審規定の改正を求める意見書の提出について

全会一致により可決し、意見書を国の関係機関に提出しました。

(要旨)

えん罪は、国家による最大の人権侵害であり、えん罪被害者救済を目的として、下記の事項について、刑事訴訟法の再審規定を国において速やかに改正されるよう意見書を提出する。

- 1 再審請求の手続規定を整備すること
- 2 再審請求手続における証拠開示を制度化すること
- 3 再審開始決定に対する検察官の不服申立てを禁止すること

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、内閣官房長官

条例改正

発議第2号 岩出市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について

全会一致により可決しました。

(要旨)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正されたことによる必要な改正及び所要の規定の整備を行うものです。



視察研修の様子

議会広報常任委員会

視察研修

令和7年9月29日、かつらぎ町議会を訪問し、議会だよりの編集方法や効果的な紙面づくりについて視察しました。

かつらぎ町議会の広報

住民目線の分かりやすい構成などが全国的に高く評価されており、全国コンクールで優良賞（第5位）を受賞されています。

編集方針を定め、「積極的かつリアルに分かりやすく議会を公開する」、「住民こそ主役の立場で編集する」などの基本原則のもと、住民参加の紙面づくりに積極的に取り組まれていました。

視察研修を終えて （意見・課題）

- ・住民の視点を中心とした編集の在り方を意識的に持つ。
- ・読みやすい議会だよりのための基本原則が必要。
- ・議決結果だけでなく、議案の提案理由や審議内容の掲載。
- ・SNSの活用と写真の多様化、リアル化。



かつらぎ町議会の皆さん、ありがとうございました

【検討課題】

- ・議会モニター制度と動画配信。

視察研修で学んだことを生かし、より分かりやすく親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。



いわで議会だより 表紙募集



議会だよりの表紙を飾りませんか？

年4回（3・6・9・12月）発行している「いわで議会だより」の表紙写真（イラスト）を随時募集しています。
詳しくは、募集要領をご覧ください。

ーお問合せ・ご応募はー

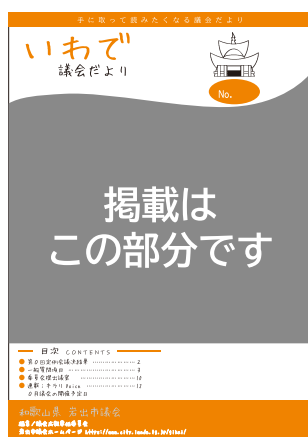
岩出市議会広報常任委員会（岩出市議会事務局）

TEL:0736-61-6947（直通） FAX:0736-61-6946

Email:gikai@city.iwade.lg.jp



募集要領



キラリ みらい Voice

犬は、肝臓の病気でなくなりました。この時私は、どうして助けられなかったのだろう、できることはなかっただろうかという後悔でいっぱいでした。そこから、病気やケガ、災害で苦しむ動物たちを救いたいと考えるようになり、今は日本動物愛護協会の募金活動に協力し、少しでも多くの動物たちを救うための支援をしています。私は、さまざまな動物たちから信頼される獣医になりたいです。



中央小学校 6年 長濱^{ながはま} 心菜^{こころな}さん

私の夢は獣医になることです。

獣医になろうと思ったきっかけは、祖母の家で飼っていた犬がなくなってしまうことが関係しています。祖母の



上岩出小学校 6年 熊井^{くまい} 七望^{ななみ}さん

私の夢は水泳のコーチになることです。なぜなら、私は水泳を習っている中で、泳ぐことの楽しさや達成感を得ることができたからです。

水泳は、私の生活を大きく変えてくれたと思います。水泳を始めてから、スピードが出せるようになり、礼儀やあいさつもすっかりできるようになりました。夢の実現に向けて、今は厳しい練習にも前向きに取り組む、水泳の技術や楽しさについて、本やインターネットで調べて努力しています。これからも練習し、面白さを伝えられるコーチになるのが私の夢です。

★ 令和7年第4回定例会（12月）の
本会議開催予定日は、次のとおりです。

- 第4回定例会（12月議会）日程
午前9時30分から
- | | |
|-----------|-----------|
| 11月28日（金） | 行政報告・議案説明 |
| 12月4日（木） | 質疑・委員会付託 |
| 12日（金） | 討論・採決 |
| 16日（火） | 一般質問 |
| 17日（水） | 一般質問 |

11月28日（金）の本会議は、午前9時30分から旧和歌山県議会議事堂（根来2347-22）で開会します。ぜひ傍聴にお越しください。

なお、12月4日（木）以降の本会議は、午前9時30分から、岩出市役所の市議会議場で開きます。



議会広報常任委員会

「手に取って 読みたくなる 議会だより」を目標に紙面づくりに取り組んでいます

委員長 三栖慎太郎 副委員長 市来利恵 委員 福山晴美 西野峻也 杉本直哉 大上正春 牛田佑佳



岩出市議会ウェブサイト
<https://www.city.iwade.lg.jp/gikai/>

岩出市議会

検索

携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると
議会ウェブサイトへアクセスできます。



市議会ウェブサイト